



平成24年11月

杉並区立富士見丘中学校

第2号

学校運営協議会だより

子どもの味方

学校運営協議会会長

ちょう しゅんすけ
長 俊介

(日本スクールソーシャルワーク協会会長)



いじめや虐待など、周りの大人が関わることで遞減できる子どもの困難はたくさんある。だから、子どもの味方になれる大人がたくさんいれば子どもは助かる。そんな思いでNPOを立ち上げた。隣近所が希薄になって、人と人とがつながりにくくなっている今。「夢」や「希望」・「安心感」といったものが持ちにくくなっている子どもたちを、いろいろな社会に向けて歩いて行けるよう、地域の大人が支えていくことが必要だ。

はじめまして

校長

わたなべ せんじ
渡邊 仙二



この春の定期異動で富士見丘中学校に着任しました渡邊仙二と申します。

富士見丘中学校は、全校生徒が自分の可能性を信じて頑張り、たくさんの先生方がそれを応援している素晴らしい学校です。

保護者や地域の皆様方の温かいご支援をいただきながら、新たな校風づくりと学校の教育の創造のために、全教職員の英知と努力を結集してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

地域運営学校に移行し、より良い学校づくりを目指しています

平成23年4月から富士見丘中学校は地域運営学校（コミュニティ・スクール、以下はCSと略）へと移行しました。CSは国の法律に基づくもので、区が指定しています。今、杉並区内では少しずつCSの指定が増えています。

CS委員は教育委員会が任命し、次のような具体的な権限を有しています。

①学校の運営に関する基本的な方針について承認する②学校の運営に関して教育委員会または校長に対し、意見を述べることができる③教職員の採用等に関して任命権者に意見を述べるができる、などです。

富士見丘中学校の委員は、長く学校評議員を務めてきたメンバーが中心です。皆さんの協力を得て、生徒・保護者・教員の意識調査を年1回実施し、学校改善について提案をしてくれています。

CS委員となってからも学校の現状を理解し、応援団の立場として改善についての話し合いなどをしてきています。

今後も、生徒や保護者、教員とコミュニケーションをとりながら、より良い学校生活が出来る手助けをしていきます。



活動報告と協議内容

平成23年度4月～

学校評議員制度から移行して
コミュニティ・スクールとなる
(地域運営学校・学校運営協議会)

平成23年度4月～平成24年3月

月1回程度で開催
□校長からの経営方針などの報告
□校内の教員と懇談
□生徒会役員と懇談
□PTA 役員と懇談
□区の調査報告の概要説明
□教職員の任用に関する意見まとめ

平成24年度4月～

□校長からの経営方針などの報告
□校内の教員と懇談
□地域運営学校テーマに研修会
□生徒会役員と懇談
など

生徒会役員と今年も懇談

学校生活への希望を聞く

23年度にも行いましたが、今年度も生徒会役員7人と懇談しています。生徒たちの本音が聞けるように、この時には校長先生や副校長先生は加わらないように配慮してもらっています。

昨年度に出合ったメンバーでもあり、1年間の成長を感じ取れる機会になりました。

学校生活の様子や、楽しみにしていることや打ち込んでいること、困っていることなど、幅広く意見交換をします。

その内容は、今後の協議に反映したり、学校改善を考える際に生かすことになります。



CS テーマに研修会

全国のコミュニティ・スクールが参加する連絡協議会の佐藤晴雄・事務局長（日本大学教授）を招き、コミュニティ・スクールについての研修会を今年度は8月29日に開催しました。立富士見丘中学校

ここには、CS委員の他、PTA、教員、近隣の学校のPTAの方々にも参加してもらい、理解を深めました。

CS 委員会から

本校の学生諸君は素晴らしいです。明るく陽気で挨拶もキチンとする。そんな日常の行動をしっかり見ておられる方がいます。学区外だかどうしても本校に入れたいとのこと、嬉しいです。運動会、合唱コンクールに見せる対抗意識とまとまりは特筆すべくものが有り又、スポーツでも輝かしい成績報告も有り更に勉強にもう一段階上の成績を期待しています。CS委員会も町会も応援します。

安江水城

進んで挨拶をする明るい素直な子どもたちが多いと思います。今年度CS会議で、先生、PTA、生徒会の方々と懇談をし、それぞれの思いをお互いに分かり合えた気がします。子ども達の可能性を引き出し、より良い学校生活を送ることができるよう、微力ながら私も地域の一員として学校、保護者の方々と協力し、考えていきたいと思っています。

杉江美枝子